

対象学年	1 学年	科目名	キャリア教育講座 I	担当名	大松 晶野
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	自ら考え行動できる力を身につける。ウェディング・ホテル業界で働くことの基礎を身につけ、業界の魅力を知る。また、社会人として必要なビジネスマナーを学習し、仕事への基本姿勢、取り組み方、意識を向上し、実践できるようになる。
学習内容	学科職員や業界の方々から、ウェディング・ホテル業界で活躍するために、業界の特徴や、学生一人ひとりの特性に合わせ、学習を通して自信やモチベーションを高めることで業界へ羽ばたくことが楽しみになる授業を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	使用教材をしっかりと確認し、毎回忘れ物がないよう出席すること。

授業回数別教育内容

回数	日程	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	5/24	導入教育の振り返り(学則・学校ルール・カリキュラム) TDL研修の振り返り	・パソコン(学生便覧データ) ・手帳(スケジュール帳)	
2	5/31	夢を叶えるための「3つの行動の原則」を理解する 1S目標設定 ITリテラシーの実施	・パソコン ・手帳(スケジュール帳) ・Hand-book of LifeStyle	
3	6/7	ビジネスマナーを身につける① 身だしなみ:第一印象の効果と実践に向けて	・パソコン ・手帳(スケジュール帳)	
4	6/14	ウェディング・ホテル業界の方からの特別講座 ～講師:テイクアンドギヴ・ニーズ様～	・パソコン ・手帳(スケジュール帳)	
5	6/21	これからの業界での活躍を目指す学生へ モチベーションの保ち方を知ろう 講師:岡田先生	・パソコン ・手帳(スケジュール帳)	
6	6/28	CSU試験対策授業 講師:石田先生		
7	7/5	CSU模擬試験検定試験		
8	7/12	ビジネスマナーを身につける② 言葉遣い 敬語、正しい言葉遣いを学ぶ	・パソコン ・手帳(スケジュール帳)	
9	7/19	ウェディング・ホテル業界の方からの特別講座 ～講師:WAO!!STYLE様～	・パソコン ・手帳(スケジュール帳)	
10	7/26	自己理解 ～自分ってどんな人?～	・パソコン ・手帳(スケジュール帳)	
11	8/30	自己理解から「自分軸」について	・パソコン ・手帳(スケジュール帳)	
12	9/6	ビジネスマナーを身につける③ 電話対応 来客対応 食事マナー	・パソコン ・手帳(スケジュール帳)	
13	9/13	社会で求められるオフィスカジュアルについて 講師:岡永先生	・パソコン ・手帳(スケジュール帳)	
14	9/20	後期に向けてオリエンテーション 1S振り返り	・パソコン ・手帳(スケジュール帳)	
15	9/27	定期試験		

対象学年	1 学年	PCスキル I	担当名	花塚 千恵美 (株)ブレンスタッフコンサルタンツ
対象学期	前 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> Teamsの基本的な操作ができる Wordを利用した、ビジネス文書の作成ができる Excelを利用した、表計算や表、グラフの作成ができる
学習内容	滋慶学園グループの企業である(株)ブレンスタッフコンサルタンツのラーニングマネージャーが、学校生活や就職後に必須となるパソコンスキルについての講義を実施。学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	<ul style="list-style-type: none"> パソコンはフル充電した状態で講義に参加してください PCに接続可能なイヤホンまたはヘッドホンと、マウスを準備してください

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	Teamsの活用(アンケート、データの取扱い) マウスの練習とweb検索	e-learning CCT入門コース (入門1)	無
2	Excelの基本を学び講義で必要な操作ができる	e-learning CCT入門コース (入門4)	無
3	文書作成ソフトを使って効率的にビジネス文書を作ることができる	e-learning Wordコース (Word基礎1)	無
4	画像や図形を駆使した、社会人レベルの文書を作成できる	e-learning Wordコース (Word基礎2)	無
5	表を駆使した社会人レベルの文書を作ることができる	e-learning Wordコース (Word基礎3)	無
6	長文作成における必要な操作ができる	e-learning Wordコース (Word応用A)	無
7	企業や施設が求める表計算ソフトの操作ができる	e-learning Excelコース (Excel基礎1)	無
8	関数やグラフを駆使した資料を作成できる	e-learning Excelコース (Excel基礎2)	無
9	グラフを駆使した資料を作成できる	e-learning Excelコース (Excel基礎3)	無
10	データベース機能を理解し活用できる	e-learning Excelコース (Excel応用A)	無
11	応用的な関数を活用できる1	e-learning Excelコース (Excel応用B)	無
12	応用的な関数を活用できる2	e-learning Excelコース (Excel応用C)	無
13	目的に合ったグラフを選択し、作成することができる	e-learning Excelコース (Excel応用D)	無
14	Excel基礎1,2,3の内容を繰り返し練習して習得する	e-learning 試験対策コース (Excel試験対策)	無
15	Excelの基礎的な操作ができる	e-learning 試験コース (Excel)	無

対象学年	1 学年	科目名	コミュニケーションスキルアップ	担当名	石田 智子
対象学期(Q)	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	コミュニケーションスキルアップ検定試験に合格する。社会に通用するコミュニケーション力を身につけるために、効果的なコミュニケーションの方法を体系的に理解する。
学習内容	百貨店等接客サービスの現場経験をもつ講師が、経験から得た豊富な実体験を交えた講義をおこなう。社会の一員として必要なコミュニケーションを自ら考え行動できる人材育成を目指すため体験参加型の授業を行うので、積極的に参加すること。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	コミュニケーションスキルアップ検定テキスト、筆記用具一式を毎回必ず持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	科目オリエンテーション 第1章コミュニケーションとは	テキスト・筆記用具一式	テキストに目を通しておくこと
2			
3	第2章基本的対話スキル① 1対1の会話・グループでの会話	テキスト・筆記用具一式	テキストに目を通しておくこと
4			
5	第2章基本的対話スキル② ノンバーバルコミュニケーション	テキスト・筆記用具一式	テキストに目を通しておくこと
6			
7	第3章自己表現スキル①	テキスト・筆記用具一式	テキストに目を通しておくこと
8			
9	第3章自己表現スキル② 第4章社会的スキル①対人行動	テキスト・筆記用具一式	テキストに目を通しておくこと
10			
11	第4章自己表現スキル②文書作成	テキスト・筆記用具一式	テキストに目を通しておくこと
12			
13	第5章サービスマインド まとめ・過去問題	テキスト・筆記用具一式	テキストに目を通しておくこと
14			
15	コミュニケーションスキルアップ検定(定期試験)	テキスト・筆記用具一式	

対象学年	1 学年	科目名	ブライダル概論 I	担当名	中村 恵理
対象学期	前期		講義・演習・実技・実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ブライダルの基本的な用語を理解し、歴史・慣習・儀式・実務の基礎を学び、結婚及び結婚式について全体像を理解する。
学習内容	ゲストハウス・ホテル・レストランなど様々な会場を経験したのち、フリープランナーとして現在も活躍している教員が、現在の結婚式スタイルなどの話も交えながら、婚礼に携わる物として最低限の知識の定着を図る。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	SNSなどで結婚式について興味を持つこと。 結婚式のスタイルは多様化しているが、歴史や慣習などについてもしっかりと学ぶこと。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ブライダル業界のイメージ、現状 新郎新婦の気持ちを知る	筆記用具	
2	ブライダルビジネスとは	筆記用具、BIAブライダルコディネーターテキスト(スタンダード)	
3	ブライダルの基礎知識① 見合い、婚約、結納について	筆記用具、BIAブライダルコディネーターテキスト(スタンダード)	
4	ブライダルの基礎知識② 挙式スタイルについて	筆記用具、BIAブライダルコディネーターテキスト(スタンダード)	
5	人前式の基本的な進行と注意点	筆記用具、テキスト ウエディングプランニングツール	
6	ブライダルの基礎知識③ 披露宴、2次会について	筆記用具、BIAブライダルコディネーターテキスト(スタンダード)	
7	基本的な演出アイテムの特徴と所要時間	筆記用具、BIAブライダルコディネーターテキスト(スタンダード)	
8	進行表の役割、見方	筆記用具、テキスト ウエディングプランニングツール	
9	結婚の定義 日本及び欧米の結婚式の歴史と文化	筆記用具、BIAブライダルコディネーターテキスト(スタンダード)	
10	ブライダルアイテム① 衣装(洋装、和装、列席衣装)	筆記用具、BIAブライダルコディネーターテキスト(スタンダード)	
11	ブライダルアイテム② ブーケ、ヘアメイク	筆記用具、BIAブライダルコディネーターテキスト(スタンダード)	
12	ブライダルアイテム③ 会場コーディネート、ペーパーアイテム	筆記用具、BIAブライダルコディネーターテキスト(スタンダード)	
13	ブライダルアイテム④ 料理・飲物、写真・映像商品	筆記用具、BIAブライダルコディネーターテキスト(スタンダード)	
14	ブライダルアイテム⑤ 引出物、引菓子、その他アイテム	筆記用具、BIAブライダルコディネーターテキスト(スタンダード)	
15	定期試験	筆記用具	

対象学年	1 学年	科目名	ゲストハウスウェディングI	担当名	和田 翔太郎
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ゲストハウスウェディングの歴史・スタイル・実務の基礎を学び、ゲストハウス全般の知識を得る。お客様に合わせた提案をするため、最適なヒアリングとプランニングを行うことができるようにする。
学習内容	都内ゲストハウスでウェディングプランナー及びバンケットキャプテンを経験しフリープランナーに転向、約10年のブライダル業界経験を持つ教員が、婚礼業界でのスキルアップに向けて、様々な事例から知識を得ること・学生同士での調査検討発表することを経て、ヒアリングとプランニングスキルを習得するための講義演習を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	筆記用具とPCを持参

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション ゲストハウスウェディングについて	筆記用具、PC	—
2	ゲストハウスの基礎知識: ウェディングスタイル	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
3	ゲストハウスウェディングの特徴① ゲストハウス調査ワーク準備	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習 次回に向けての情報収集
4	ゲストハウスウェディングの特徴② ゲストハウス調査ワーク発表	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
5	ゲストハウスの基礎知識① 業務内容 新規接客	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
6	ゲストハウスの基礎知識② 業務内容 プランニング	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
7	ゲストハウスの基礎知識③ 業務内容 婚礼当日	筆記用具、PC	前回授業の理解・復習
8	定期試験		

対象学年	1 学年	ウェディングサービス演習	田島 史雄
対象学期	前 期	講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	4単位 60時間

到達目標	ウェディングサービスに特化した検定試験「ウェディングサービス検定」に合格する。
学習内容	外資系シティホテル及びウェディングも行うフレンチのグランメゾン等で、レストランマネージャーとして研鑽を積む。洋食、和食と広くサービスを経験している講師が、教科書に沿いながら、実際の職場でもすぐにサービス実践できるように指導を心掛ける。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	「宴会サービスの教科書」を持参し、ビジネススーツでの参加を忘れないこと。 * 髪型、靴等に接客サービスに相応しい状態に整える

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	サービススタッフの基本的マナー/接客の基本動作と姿勢/接客用語と言葉使いのマナー/基本スキル	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
2	ドリンクサービス/ボトルによるサービス/ワインの注ぎ方/ワイン料理に関する知識	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
3	宴会サービスとは/宴会サービスの心構え/宴会セクションの組織と役割/備品の扱い方とテーブルセッティング	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
4	宴会のサービスの方法/フードメニュー/ナプキン/テーブルプラン	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
5	宴会の種類とテーブルプラン/会場設営	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
6	宴会サービス業務と手順①	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
7	宴会サービス業務と手順②/プロトコール	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
8	婚礼サービス1 ブライダルとは/ブライダルサービスの業務/結納	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
9	婚礼サービス2 ブライダルフェア/挙式・披露宴サービスの流れ(準備)	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
10	婚礼サービス3 会場設営/挙式サービスの流れ	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
11	婚礼サービス4 披露宴での業務/披露宴サービスでのポイント	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
12	婚礼サービス5 披露宴サービス流れ・サービス演習	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
13	結婚式の基礎知識 結婚式とは/挙式のスタイル/関連商品	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
14	ユニバーサルマナー 肢体不自由/視覚障害/聴覚・言語障害	宴会サービスの教科書・筆記用具	練習問題への取り組み
15	定期試験(ウェディングサービス検定)	筆記用具	

対象学年	1 学年	科目名	ホテルサービス演習	担当名	丸毛 浩一
対象学期	前 期	講義	・ 演習 ・	実技 ・ 実習	単位/時間数 2単位 30 時間

到達目標	宿泊部門の基礎知識及び基本スキルを身に付け、ホテルマンとして宿泊サービス演習が系統だって行える実務能力を発揮する事が出来る。
学習内容	ホテル業界で宿泊サービス並びに担当支配人、総支配人の実務経験を有し、ホテル学校での教育経験を持つ教員が学生一人一人へ宿泊部門の実務を自信を持ってモチベーションを高め実演できる授業を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	毎週の授業及び事前学習課題に備え指定されたテキストを必ず持参 実技実習に備え毎週スーツ(制服)着用及びメモ帳(小型)、ノック式ボールペンを忘れず持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	前期の授業概要を理解する 宿泊部門の基本姿勢を実践、理解する	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
2	宿泊部門の使命と役割及び業務の流れを理解する 組織及びスタッフに求められる資質・能力について理解する	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
3	ロビー・サービス業務について理解する I	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
4	ロビー・サービス業務について理解する II	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
5	ロビー・サービス業務の実践トレーニングを行う I (バルサービス及びクローク)	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
6	ロビー・サービス業務の実践トレーニングを行う II (バルサービス及びクローク)	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
7	ハウスキーピング業務について理解する I	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
8	ハウスキーピング業務について理解する II	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
9	ハウスキーピング業務 ロールプレイング(実践) I	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
10	ハウスキーピング業務 ロールプレイング(実践) II	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
11	フロントオフィス業務について理解する	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
12	フロント・オフィス業務の実践トレーニングを行う I (レセプション業務 C/I C/O)	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
13	フロント・オフィス業務の実践トレーニングを行う II (レセプション業務 C/I C/O)	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
14	宿泊サービス前期授業を復習し、理解を深める	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	当該授業の反復学習
15	定期試験	宿泊業務の基礎 ホテルサービスマニュアル(宿泊編)	定期試験の反復学習

対象学年	1 学年	科目名	ホテルビジネス	担当名	唐橋 誠治
対象学期	前 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ホテル全般の知識を理解する。ホテルプライダルでの宴会備品、婚礼サービスで使用する用語や飲食に伴う知識を取得し、企業研修や就職時にお客様への提案、接客が出来るようにする。ホテルの歴史、文化を理解し、検定受験をする意欲とホテル業界へ魅力を見出し、サービス実務の最高峰であるホテル知識を得たウェディングスタッフへの育成をする。
学習内容	ホテルニューオータニにて8年勤務。プライダルキャプテンで400組の婚礼を担当。天皇陛下をはじめ、迎賓館、総理官邸での各国VIPへの接客経験。ホテルプライダル知識の他、ホテルの歴史、宿泊対応、料飲サービスの実体験を踏まえて解説。テキストと過去問題を使用し小テストにて理解進捗を確認しながら、ホテル接客の知識を得る。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ホテルビジネス実務検定テキストの持参/マーカーペン持参の事

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	第4章 宴会部門 第1節 宴会部門の概要	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	
2	第4章 宴会部門 第2節 宴会部門の実務①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	
3	第4章 宴会部門 第2節 宴会部門の実務②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	
4	第3章 料飲部門 第1節 料飲部門の概要	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	
5	第3章 第2節 料飲部門の実務①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	
6	第3章 第2節 料飲部門の実務②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	
7	第3章 第2節 料飲部門の実務③	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	
8	第5章 調理部門 第1節 調理部門の概要	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	
9	第5章 調理部門 第2節 調理部門の実務①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	
10	第5章 調理部門 第2節 調理部門の実務②	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	
11	第1章 ホテルの基礎 第1節 観光産業の概況 第1章 ホテルの基礎 第2節 ホテル産業の概況	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	
12	第1章 ホテルの基礎 第3節 実務者として必要な基礎知識 第4節 ホテル英語の基礎	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	
13	第2章 宿泊部門 第1節 宿泊部門の概要	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	
14	第2章 宿泊部門 第2節 宿泊部門の実務①	【テキスト】ホテルビジネス 基礎編・練習過去問題集 700選	
15	定期試験		

対象学年	1 学年	科目名	ドレススタイリスト I	担当名	福島圭子・坂田依智子
対象学期	前期	講義	・(演習)・実技・実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	婚礼衣装及び小物類を丁寧に取り扱いことができ、洋装の正しいフィッティングができる。使用した教材を元の場所に戻すことができる
学習内容	ドレスブランドマシェリにて、500組以上の婚礼にウエディングスタイリストとして携わってきた教員と、ウエディング総合プロデュース会社「TAKAMI BRIDAL」にてウエディングスタイリストとして長きにわたり式場やホテルの現場で婚礼衣装業務に携わってきた教員が、婚礼衣装の知識の講義と正しい技術を身につけるためのフィッティング演習を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	テキスト、筆記用具、白手、インナーを持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無	担当講師
1	スタイリストの仕事について ムの使い方	ドレスルー [テキスト]JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
2	ドレスの基礎知識~シルエット・ディテール 取り扱い方	ドレスの [テキスト]JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
3	ドレスの基礎知識~装飾・色・素材 ドレスのフィッティング手順	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
4	ドレスの基礎知識~サイズ・ドレス小物 ドレスのフィッティング	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
5	ドレスのフィッティング	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
6	フォーマルウェアの基本	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田
7	新郎衣装の基礎知識 新郎衣装のフィッティング手順	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
8	新郎衣装のフィッティング	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
9	ブライダルインナーについての知識	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	福島
10	ブライダルインナーのフィッティング	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田
11	ドレス小物のフィッティング	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
12	インナーをつけてウエディングドレス・小物のフィッティング	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
13	インナーをつけてカラードレス・小物のフィッティング	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
14	ドレスとメンズ衣装の基礎知識の復習 ドレスのフィッティングの復習	[テキスト]JWSA ウエディングファッション	授業内容に応じて自宅学習	坂田 福島
15	定期試験			坂田 福島

対象学年	1 学年	科目名	ブライダルフラワーアレンジ I	担当名	伏見さゆり
対象学期	前 期		講義	演習・実技・実習	単位/時間数

到達目標	ブライダルにおける花との関わりや、基本的な花の知識を学びブライダル業界で働く事に対する意識を芽生えさせ、専門的知識を説明することができる。
学習内容	ヨーロッパフラワーデザイン連盟認定講師として18年6教室を運営する傍ら、企業レッスン・音楽イベント・ブライダル装花など様々なシーンで活動しております。 ブライダル業界に密接な関係性がある花について、専門用語・種類や特徴を理解し学びを通じてモチベーションを高め、基礎知識についての講義と実技を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	授業毎で使用する持ち物は、毎回確認し忘れずに持参すること。*忘れ物をすると作品が制作できません。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	フラワーアレンジメントに用いる資材、フォーカルポイント・メカニカルフォーカルポイントについて理解する。水揚げ方法・生花の切り分け方、生けた後のケアを理解する。生花の切り分け方を実施(1人6~10本程度)	教科書・フローリストハサミ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P4~P25まで自宅学習
2	生花作品①ミニラウンド&テーブルフラワー「ラウンド」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ベース・フローリストハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P98自宅学習
3	生花作品②ミニホリゾンタル&メインテーブルフラワー「ホリゾンタル」作成の実施。	教科書・トレー・フローリストハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P95自宅学習
4	花の分類・植物の生育、科の種類のそれぞれの特徴を理解する。アレンジに使われるグリーンについて理解する。生花作品③「季節の花のミニ花束」と「リース」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P26~P39まで自宅学習
5	四季の花や、花の季節行事を例示する。カラーコーディネートについて理解する。ワイヤリングとテーピング・リボンワークの扱い方を理解する。生花作品④「フレンチポウ(リボン)」&「ブートニア」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P40~57まで自宅学習
6	コサージュについて理解する。生花作品⑤「3ポイントコサージュ」と「ヴァーティカル」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ベース・フローリストハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P58~P61まで・P103自宅学習
7	ウェディングブーケに関わるオーダー制作方法・管理方法について述べる事ができる。花づくりをする前に肥料や植物の特徴を理解する。エディブルフラワーについて理解する。生花作品⑥「ブーケホルダーと巻き上げ&ブートニア」と「ラウンドブーケ」作成の実施。	教科書・コンポートベース&ジョイント・フローリストハサミ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P62~P73まで・P104自宅学習
8	生花作品⑦「ラウンドブーケ」と「ティアドロップブーケ」作成の実施。	教科書・コンポートベース&ジョイント・フローリストハサミ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P105自宅学習
9	生花作品⑧「ウェルカムボード」と「ファン」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ベース・フローリストハサミ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P100自宅学習
10	ギフトと花の関係性、リボンワーク・ラッピング(保水)について理解する。生花作品⑨「鉢のラッピング」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P74~P79まで自宅学習
11	生花作品⑩「ナチュラルステムブーケ(花束)」&「スワッグ」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P78~P79まで自宅学習
12	ドライフラワー・押し花の特徴、管理方法注意点を理解する。プリザーブドフラワーの扱い方、特徴・種類管理方法注意点を理解する。プリザーブドフラワー作品⑪「プリザーブドフラワーアレンジメント」作成の実施。	教科書・フローリストハサミ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P80~P89まで自宅学習
13	基本デザインアレンジメント&ブーケ、アレンジメント用語の説明ができる。生花作品⑫「トライアングラー」作成の実施。	教科書・コンポートカップ&ベース・フローリストハサミ・普通ハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P90~P127まで・P95自宅学習
14	生花作品⑬「試験練習ホリゾンタル」と「試験練習トライアングラー」作成の実施。	教科書・トレー・コンポートカップ&ベース・フローリストハサミ・カッター・定規・ホチキス・持ち帰りアレンジバック	教科書P95・P103自宅学習
15	定期試験・EFD2級インストラクターライセンス筆記検定対策	教科書	第1回~14回講義内容自宅学習

対象学年	1 学年	科目名	フォト&ムービー撮影 I	担当名	内垣 和
対象学期	前 期		講義	・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数

到達目標	ウェディングフォトおよびウェディングムービーを実践的に学ぶことにより、基本的な撮影・編集ができるようになる。
学習内容	フォトグラファー歴12年、前撮りを含め年間200組以上のブライダル撮影を行う講師が、カメラと写真の基礎知識、撮影技術はもとより、構図づくりや明るさ調整など写真・動画撮影の知識を講義する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	筆記用具、一眼レフカメラ一式(バッテリー、メディア等)、MacBookを忘れずに持参すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション・自己紹介(学生) カメラ開封・各部の説明		
2	写真とは・動画とは カメラの基本知識・カメラの構造		
3	Macの基礎知識・設定 使用ソフトのインストール・データ管理について		
4	カメラの設定と操作 各種モードとマニュアル撮影について		
5	カメラの設定と操作 絞り・シャッタースピード・ISO感度の設定		
6	カメラの設定と操作 画角の違いと画角による作用		
7	カメラの設定と操作 撮影のTPO(状況・環境に応じた撮影設定を学ぶ)		
8	人物撮影(ポートレート撮影)の基礎 人物撮影の画角と構図について		
9	人物撮影(ポートレート撮影)実践 ポージングと声かけとコミュニケーションの取り方		
10	人物撮影(ポートレート撮影)実践		
11	動画の基礎知識、動画撮影の基礎		
12	動画撮影実習		
13	動画編集基礎		
14	講評と編集		
15	定期試験(写真)		

対象学年	1 学年	科目名	ウェディングフォト	担当名	内垣
対象学期(Q)	前 期				講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習

到達目標	ウェディングフォト(婚礼写真)の知識、撮影基礎技術を学ぶことで、商品説明ができ、商品別に手順を理解した上で手配業務ができる。また、スマートフォンを使用した撮影、編集ができる。
学習内容	フォトグラファー歴12年、前撮りを含め年間200組以上のブライダル撮影を行う講師が、ウェディングフォトの基礎知識、撮影技術はもとより、心構えや動きなど現場で使える・役立つ知識を講義する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	テキスト・ノート・筆記用具・スマートフォンを持参すること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外の準備学習の有無
1	オリエンテーション 写真とは 写真の歴史と日本の通過儀礼における写真撮影について	テキスト:JWSA④WEDDINGPHOTO JWSA指定スキルチェックノートブック	
2	接客及び業務の流れと必要なスキルについて ウェディングフォトの知識(集合写真・記念写真・スナップ写真・前撮り・ロケーションフォト・エンゲージメント等)	テキスト:JWSA④WEDDINGPHOTO JWSA指定スキルチェックノートブック	
3	スタジオ写真の技術「親族写真の並べ方」「新婦と装の振付」について SNSの効果と注意点について	テキスト:JWSA④WEDDINGPHOTO JWSA指定スキルチェックノートブック	
4	写真を撮るためのカメラの基礎用語と基礎知識 スマートフォンのカメラ機能	テキスト:JWSA④WEDDINGPHOTO スマートフォン	
5	構図とアングル スマートフォンを使用して撮影実践と課題撮影	テキスト:JWSA④WEDDINGPHOTO スマートフォン	
6	背景と光選び スマートフォンを使用して撮影実践と課題撮影・アプリを使用した編集	テキスト:JWSA④WEDDINGPHOTO JWSA指定スキルチェックノートブック	
7	挙式の式次第と撮影ポイント・スナップ写真の撮影シーンについて ウェディングフォトの編集加工テクニック・製本方法、手配業務について	テキスト:JWSA④WEDDINGPHOTO JWSA指定スキルチェックノートブック	
8	ロケーションフォトの手順、撮影シーンについて フォトウェディング・ロケーションフォトの撮影テクニック	テキスト:JWSA④WEDDINGPHOTO JWSA指定スキルチェックノートブック	
9	スマートフォンを使用して撮影実践(ポートレート撮影)	テキスト:JWSA④WEDDINGPHOTO JWSA指定スキルチェックノートブック	
10	フォトコンテスト準備	テキスト:JWSA④WEDDINGPHOTO JWSA指定スキルチェックノートブック	
11	ウェディングフォト(動画)における心構えと立ち振る舞いについて(写真と動画の違いについて)	テキスト:JWSA④WEDDINGPHOTO JWSA指定スキルチェックノートブック	
12	動画撮影基礎、動画撮影実習	テキスト:JWSA④WEDDINGPHOTO スマートフォン	
13	動画編集基礎、動画編集実習	テキスト:JWSA④WEDDINGPHOTO スマートフォン	
14	授業内容全体まとめ 理解が不十分な部分を明確にし、知識の定着を図る	テキスト:JWSA④WEDDINGPHOTO JWSA指定スキルチェックノートブック	
15	定期試験(JWSA認定の試験)		

対象学年	1 学年	科目名	セルフビューティ A・B	担当名	笠原 麻衣
対象学期	前・後 期	講義	・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	基礎的なメイク知識やテクニックを学び、理論的な考えの基、セルフでメイクを施せられるようになる。自分自身の美意識も接客サービスや身だしなみの一つとして考え、好みのメイクだけに偏らず様々な印象のメイクが出来るようになる。
学習内容	大手外資系化粧品ブランドの美容部員として約10年従事し、マネージャーとしてメイク・接客スキルの育成にも携わる。現在はメイク講師の傍ら、グランドニッコーホテル東京台場の美容サロンに所属し花嫁様のメイクを担当。セルフビューティの授業ではメイクの基本的な知識やテクニックを学び生徒自身のメイク技術と美意識を高める。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験と実技試験とする
履修に当たっての留意点	毎授業では自分の化粧道具を持参 持っていない道具は推奨しているメイク道具を準備お願いします。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	講師自己紹介・生徒他己紹介・ 授業内容説明とアンケート		
2	基本的なアイブロウの描き方・黄金比		
3	印象別のアイブロウの描き方		
4	アイシャドウの塗り方、グラデーションの作り方		
5	ハイライト&シェーディングで立体メイク		
6	パーソナルカラーとは①ブルーベース・イエローベース		
7	パーソナルカラーとは② 4つのシーズンを知る		
8	フルメイクのバランスの取り方		
9	印象別メイク①フェミニンメイク		
10	印象別メイク②クールメイク		
11	ネイル:ベース・ワンカラー・トップコート		
12	ネイル:ベース・ワンカラー・トップコート		
13	結婚式の参列メイク①		
14	結婚式の参列メイク②		
15	定期試験		

対象学年	1 学年	科目名	パーソナルカラー検定A・B	担当名	岡永 めぐみ
対象学期	前・後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	ブライダル業界において、どの分野でも必要となる「カラー」の知識を資格を取るという目標と同時に、実際の現場においても活用出来る「応用力」と、様々なイメージの要望を色に置き換えて提案することが出来る「提案力」を身につけることが出来る基礎知識を身につける。
学習内容	色彩におけるあらゆる分野の資格を持ち、ブライダルでは新郎新婦への衣装の提案、ブーケやアクセサリーの提案と作成を行っている講師が、色で学生自身の外見のセンスアップと内面の健康を保つ知識とともにパーソナルカラー検定の資格取得をする。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	問題集は直接書き込まず、ノートを用意してください。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ブライダルで色の勉強をする意味を理解する	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具、パソコン	色相環、トーン図作成
2	色の三属性、トーンを学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具、パソコン	色相環、トーン図作成
3	色の三属性、トーンを学ぶ、色の見極め方法を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具、パソコン	問題集P7、P9
4	4つのシーズンの特徴を理解する	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具、パソコン	問題集P14
5	4つのシーズンの特徴を理解する、色の見極めテスト	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具、パソコン	1週間ファッションシート
6	似合う色の基準を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具、パソコン	問題集P18
7	自分のボディカラーを知る	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具、パソコン	問題集P19
8	中間試験	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具、パソコン	試験の復習
9	対比、反射の影響を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具、パソコン	授業で終わらなかったプリント
10	配色方法を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具、パソコン	問題集P11
11	ドレーピング方法を学ぶ1	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具、パソコン	問題集P25
12	ドレーピング方法を学ぶ2	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具、パソコン	問題集P26
13	似合う色の取り入れ方を学ぶ	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具、パソコン	問題集P30、P31
14	模擬試験	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具、パソコン	試験の復習
15	定期試験	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト カラーカード199a、のり、はさみ、筆記用具、パソコン	

対象学年	1 学年	英会話演習A・B	Paul Searle
対象学期	前・後 期	講義 演習・実技・実習	2単位 30 時間
到達目標	学生は、挨拶する・自身の考えを伝達する・相手が言っていることを理解する、などの基本の英会話と、ホテル業界の様々なビジネスシーンにおけるシチュエーションの会話を習得する。		
学習内容	滋慶英語教育に長く携わってきたネイティブの教師が、学生がホテル特有のシチュエーションにおいて外国人を前に自信を持って対応できることを目的としたコミュニケーション主体の授業を行う。		
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする		
履修に当たっての留意点	予め教科書を読み、予習してくる。また、授業後復習をし、より確実に身につけることが望ましい。		

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	<ul style="list-style-type: none"> ■コース紹介&ウォーミングアップ ■Can talk about travel 旅行について話すことができる ■Can discuss tours ツアーについて議論することができる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 1	授業内容に応じて、自宅学習
2	<ul style="list-style-type: none"> ■Can talk about jobs 仕事について話すことができる ■Can deal with check in at the airport 空港出チェックイン対応ができる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 2 & 3-A	授業内容に応じて、自宅学習
3	<ul style="list-style-type: none"> ■Can understand directions at an airport 空港の案内が理解できる ■Can talk about procedures at immigrations 入国審査の手続きについて話すことができる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 3-B & 4	授業内容に応じて、自宅学習
4	<ul style="list-style-type: none"> ■Can deal with lost items at an airport 空港で喪失物の対応ができる ■Can deal with enquiries about hotel accomodation ホテルの空き状況についての問い合わせに対応できる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 5 & 6-A	授業内容に応じて、自宅学習
5	<ul style="list-style-type: none"> ■Can check guests in and out お客様のチェックインとチェックアウトの対応ができる ■Can talk about hotel breakfast and fast food ホテルの朝食やファストフードについて話すことができる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 6-B & 7	授業内容に応じて、自宅学習
6	<ul style="list-style-type: none"> ■Can explain sighseeing tours 観光ツアーについて説明できる ■Can assist guests with souvenir shopping お客様がお客様を購入する際にサポートできる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 8 & 9	授業内容に応じて、自宅学習
7	<ul style="list-style-type: none"> ■Can assist customers with transportation needs 公共交通機関についてお客様のサポートができる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 10	授業内容に応じて、自宅学習
8	<ul style="list-style-type: none"> ■Can assist customers with problems and health issues トラブルや体調不良の問題についてお客様をサポートできる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Unit 11	授業内容に応じて、自宅学習
9	<ul style="list-style-type: none"> ■Can explain transport options to the airport 空港までの交通ルートを説明できる ■Can explain procedure at a Ryokan 旅館の手続きを説明できる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 1&3, 4&5	授業内容に応じて、自宅学習
10	<ul style="list-style-type: none"> ■Can explain Japanese meals at a Ryokan 旅館の日本食を説明できる ■Can explain Japanese souvenirs 日本のお土産について説明できる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 6, 7, 8	授業内容に応じて、自宅学習
11	<ul style="list-style-type: none"> ■Can buy bullet train tickets 新幹線の切符を購入できる ■Can take a taxi タクシーを利用できる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 9, 10	授業内容に応じて、自宅学習
12	<ul style="list-style-type: none"> ■Can give advice on sightseeing 観光のアドバイスができる ■Can explain about City Tours 市内観光について説明できる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 11	授業内容に応じて、自宅学習
13	<ul style="list-style-type: none"> ■Can give recommendation for places to visit 観光のおすすめスポットを提案できる 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic Traveling in Japan 12	授業内容に応じて、自宅学習
14	<ul style="list-style-type: none"> ■Review of course materials-consolidation through role play これまで学習した内容の復習—ロールプレイを通して理解を強化 ■Test Preparation 試験勉強 	ベーシック観光英語 ENGLISH FOR TOURISM Basic	授業内容に応じて、自宅学習
15	定期試験	/	/

対象学年	1 学年	科目名	韓国文化演習A・B	担当名	1～4週目:竹澤 雅 5～7週目:近藤 仁
対象学期	前・後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習		単位/時間数

到達目標	韓国文化・トレンド・言語を学ぶとともに、韓国での観光、結婚式のかたちを理解し、今人気の韓国風フォトウェディングを創り出し、提案する力を身につけることができる
学習内容	竹澤先生:韓国出身のネイティブ講師(現在は、日本国籍)が、自分の経験を基に教育する。日本で長年に渡り接客経験がある講師の実体験に基づく日本文化との違い・異文化での結婚式について興味・関心を持てる授業を実施する 近藤先生:ウェディングフォトのベテラン講師が、テーマに合わせたフォト演習を実施する
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	使用教材をしっかりと確認し、毎回忘れ物がないように出席すること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	授業に入る準備を確立する 韓国の概要(文化・民族特性など)	講師作成 プリントやPPT・映像など	韓国人気の理由について 考えをまとめる
	韓国のホテルについて(有名な観光地やホテルのおもてなしの方法)		
2	韓国のブライダルについて (韓国での結婚観や結婚式の特徴について)	講師作成 プリントやPPT・映像など	韓国で行ってみたい 観光地について調べる
	韓国ブライダルについて (韓国で今人気の結婚式について)		
3	韓国語(日常会話)	講師作成 プリントやPPT・映像など	韓国で推し活 応援うちわに書きたい 言葉を考える
	韓国語(接客用語)		
4	韓国の民族衣装やアイテムについて (チマチョゴリを着てみよう)	講師作成 プリントやPPT・映像など	チマチョゴリに似合う 髪型を考える
5	韓国風ウェディングフォトの準備① コンセプトシートの作成 (ウェディングフォトで着たいドレスを探す)		
	韓国風ウェディングフォトの準備② (韓国風ウェディングのヘアメイクやコスメについて)		
6	韓国風ウェディングフォトの準備③ (各チームで準備)		
	韓国風ウェディングフォトの準備③ (各チームで準備)		
7	韓国風ウェディングフォト撮影会		
8	定期試験	1～4回目の授業を中心とウェディングフォトの コンセプトシート提出、振り返りの内容	

対象学年	1 学年	科目名	マーケティングA・B	担当名	長谷川 円香
対象学期	前・後 期		講義	演習・実技・実習	単位/時間数

到達目標	マーケティングの基本的な知識を理解し、商品やサービスが売れる仕組みを知る。自分の言葉や写真を使って表現出来るようになる。 SNSを効果的に表現出来る方法を身につけることを目標とする。
学習内容	婚礼プロデュース会社にて10年以上勤務後フリーランスウェディングプランナーとして独立。フリープランナー経験8年・フリーMC歴15年。 行政・企業のSNS運用・イベント集客などを手がける講師が、マーケティングの基本中の基本について分かりやすい言葉で具体的に指導。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ノート、筆記用具を持参すること。(ハサミ・糊などを使用する場合は事前に告知)スマートフォンまたはタブレットPCを準備して、情報収集が可能な状態で参加すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	オリエンテーション・自己紹介・到達目標の共有 マーケティングの基本【4P / 4C】	筆記用具	授業内容に応じて自宅学習
2	「マーケティング」での「顧客」の定義。 ホテル・サービス業におけるペルソナとは？を知る。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
3	【グループワーク】準備 ペルソナが求める会場タイプ別の魅力分析	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
4	【グループワーク】準備 会場の魅力についてプレゼンテーション準備	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
5	【グループワーク】発表 会場の魅力についてプレゼンテーション発表	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
6	行動経済学を知ってマーケティングに活かそう！ なぜ、マリッジブルーになる花嫁が多いのか？など。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
7	【グループワーク】準備 市場におけるニーズの分析・SNSの特性研究 世代や属性によるSNSの特性を知る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
8	【グループワーク】発表 市場におけるニーズの分析・SNSの特性研究 世代や属性によるSNSの特性を知る	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
9	広報力の分析／マーケティング用語とビジネスカタカナを知る。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
10	広報力の分析／マーケティング用語とビジネスカタカナを知る。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
11	【グループワーク】準備 広報力の分析・言葉をお金に変えるには 売れるキャッチコピーを考えてみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
12	【グループワーク】発表 広報力の分析・言葉をお金に変えるには 売れるキャッチコピーを考えてみよう	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
13	集客案作成① マーケティングを活かしてブライダル広報誌を作ってみよう。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
14	集客案作成② マーケティングを活かしてブライダル広報誌を作ってみよう。	筆記用具、情報収集ツール(スマートフォン・タブレットPC)	授業内容に応じて自宅学習
15	定期試験		

対象学年	1 学年	科目名	ブライダルジュエリーAB	担当名	北沢 聡子
対象学期	前・後 期		講義・演習・実技・実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	婚礼に使われるジュエリーとアクセサリーについて例示し、宝石についての知識と興味を持って美しいイメージを顧客に持ってもらえるような接客力を発揮し、知識を持ってジュエリーショップに就職も視野に入れる
学習内容	最大手のメーカーでドレスのデザイナー・関連小物の企画、ドレスコーディネーターを勤めてきた講師が長年にわたり収集した世界中の王家・名門貴族・セレブリティのジュエリー画像、世界の流行を変えたジュエリー、ハイブランドの特徴や日本のブランドの画像をふんだんに使いながらジュエリーの世界を伝授する
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ノートを取りなるべく本物を見るように提示された場所に行ってみる

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ブライダルジュエリーの種類と宝石の知識の重要性	講師資料	自分の誕生石を調べる
2	宝石の特徴と主な種類、欧米諸国と日本の違い	講師資料	授業復習
3	誕生石について学びながら基本知識を深める	講師資料	授業復習
4	ダイヤモンドについて	講師資料	婚約指輪の理想を考える
5	婚約指輪・結婚指輪について	講師資料	結婚指輪の理想を考える
6	5大ジュエラーとグランサンク	講師資料	ヴァンドーム広場を検索する
7	世界のハイブランドと日本のブランド	講師資料	授業復習
8	世界のティアラ・ティアラを着ける効果	講師資料	授業復習
9	パリュールについて	講師資料	授業復習
10	ドレスとブライダルジュエリーのバランス	講師資料	授業復習
11	日本が世界に誇る真珠について	講師資料	授業復習
12	王族・貴族のブライダルジュエリー	講師資料	授業復習
13	模造宝石の進化と市場	講師資料	授業復習
14	最近のブライダルジュエリーの傾向	講師資料	試験勉強
15	定期試験		

対象学科	ウェディング科		
対象学年	1 学年	科目名	オフィスワーク・マナー講座A・B
対象学期	前・後 期	講義 ・ 演習 実技 ・ 実習	担当名 石田 智子 単位/時間数 2単位 30 時間

到達目標	一般的なビジネスマナーの基礎知識を習得する。知識を習得し、自ら考え行動できる態度を身につけ社会に寄与できる人材となる。
学習内容	百貨店等、接客サービスの現場経験をもつ講師が豊富な実体験を交えた講義をおこなう。一般的なオフィスワークマナー及び社会常識も合わせ、自ら考え行動できる人材育成を目指すため体験参加型の授業を実施するので、演習には積極的に参加すること。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点~100点 B - 3.0 80点~89点 C - 2.0 70点~79点 D - 1.0 60点~69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	・毎回筆記用具一式を持参 ・持参物等の連絡事項をTeamsで確認すること

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	科目オリエンテーション	Hand-book of Life Style	
2	マナーの基本原則 (挨拶、表情、身だしなみ、立ち居振る舞い、言葉づかい)		
3	コミュニケーション①コミュニケーションの種類		
4	コミュニケーション②人間関係力を磨く (表情・アイコンタクト)		
5	コミュニケーション③話し方・聴き方		
6	コミュニケーション④言葉づかい・敬語		
7	ビジネスマナー①挨拶・返事		
8	ビジネスマナー②応対・訪問		
9	ビジネスマナー③電話応対		
10	ビジネスマナー④ビジネス文書・伝票記入		
11	社会生活におけるマナー①公共の場でのマナー		
12	社会生活におけるマナー②慶弔マナー		
13	接客マナー①接客用語・クレーム対応		
14	接客マナー②金銭 まとめ(定期試験前振り返り)		
15	定期試験		

対象学年	1 学年	科目名	ブライダルブーケ A・B	担当名	松浦 麻子
対象学期	前・後 期		講義 ・ 演習 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 60 時間

到達目標	ブーケ、ヘア装飾の実技を通して得る生きた知識を自分の専門分野に活用できる。ブーケスタイルによる特徴や美しさ、構造による留意点と優れた点、効果的な取扱いとトラブル対応などを説明、実践でき、さらに各自の専門性と掛け合わせて言葉で表現できる。
学習内容	9年間ホテル婚礼装花の業務経験のある教員が、生花、ドライフラワー、アーティフィシャルフラワーを用いた多彩なブーケやヘア装飾を教える。プランナー等各専門分野に役立つ着眼点で、花材の種類、ブーケスタイル、構造の特徴や取り扱いを習得し、プランニング等の付加価値を高める。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	授業によりハサミなど持参/毎回の授業に振り返り有/生花を使う場合は水揚げ作業もします

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	【ドライフラワーのクラッチブーケ】 取扱いと作り方説明 ブーケ・ブートニア・ヘアード作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
2	【生花のクラッチブーケ】 現場取扱いと水揚げ説明 水揚げ・ブーケ・ヘアード作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
3	【アーティフィシャルフラワーのクラッチブーケ】 注意点説明 ブーケ・花冠作成・感想発表	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
4	【生花のラウンドブーケ:ブーケホルダー使用】 ブーケホルダーの説明 水揚げ・ブーケ・ブートニア作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
5	【アーティフィシャルフラワーのラウンドブーケ】 生花、造花、ドライ比較解説 ブーケ・ブートニア作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
6	【生花のティアドロップブーケ:ブーケホルダー使用】 作り方説明 水揚げ・作成・リボン取付	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
7	【アーティフィシャルフラワーのキャスケードブーケ:ブーケホルダー使用】ホルダー等のメリットデメリット解説 作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
8	【生花のキャスケードブーケ:ブーケホルダー使用】 作り方説明 作成	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
9	【ドライフラワーのボールブーケ】 作り方説明 ブーケデザイン・制作・感想発表	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
10	【生花のボールブーケ】 水揚げ・ブーケデザイン・制作・前回との比較	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
11	【ドライフラワーのバッグ型ブーケ】 作り方、注意点説明 ブーケデザイン・制作	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
12	【アーティフィシャルフラワーのリングブーケ】 作り方説明 ブーケデザイン・制作・感想発表	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
13	展示会用ドレス選択 ブーケデザイン	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
14	展示作品制作 展示 感想発表	筆記用具・ノート等・持帰り用袋	なし
15	定期試験	筆記用具	なし